

平成30年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要
女性の活躍

女性が輝ける職場から、多肉植物を全国へ

○氏名又は名称 株式会社カクト・ロコ（代表 野末 信子）

○所在地 静岡県浜松市

○出品財 女性の活躍

○受賞理由

・地域の概要

浜松市は静岡県西部に位置し、平野部は国内の主要な交通網が集中し、製造業が盛ん。農業に関しては、みかん等の果樹、畜産、洋菜類、キク、ガーベラ等の花き類、茶等、県内有数の産地が形成されており、農業産出額は全国第7位の533億円。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

果樹、稲作及び肥育牛の複合経営から、平成元年にサボテン専作に経営を転換。平成16年に「株式会社カクト・ロコ」として法人化し、栽培の中心を多肉植物に移行。現在の栽培品目は、多肉植物・サボテン約500種。施設面積は計4.4ha。従事者数は107名、うち女性93名。

・受賞者の特色

(1) 学びを活かしたリーダーシップの発揮と経営発展

野末氏は、結婚を契機に農業に従事。40年前、生活改善グループを組織し仲間とともに簿記を学ぶなど、経営や社会参画に取り組んできたことから、法人化にあたり夫の勧めで代表取締役就任。多肉植物の可能性に着目し、野末氏自ら全国各地の売り場に立ち商品の楽しみ方を直接伝えるPR活動を展開し、市場を拡大。13期連続で黒字を達成。

(2) だれもが働きやすい職場づくり

働く女性の家庭環境にも配慮し柔軟に勤務時間・形態を変えられるようにするとともに、急な子供の発病・行事にも対応できるよう人員に余裕を持たせている。また、生産現場・集出荷場の負担軽減・効率化を図るとともに、トイレや休憩場所の整備など女性目線での職場環境の改善を実施。女性の働きやすい職場づくりを通じ、高齢者や障がい者も雇用。

(3) 女性従業員の積極的な雇用と人材育成

多肉植物の生産・販売には女性の細やかな感性が重要との考えから、当初から積極的に女性を雇用。現在、女性従業員は約9割を占める。若手職員の感性を生かした商品開発により販売力が向上し、大手生花店からの受注も実現。歳月をかけリーダー育成に取り組み、生産、販売等の4部門全ての責任者に女性を登用。

・普及性と今後の発展方向

野末氏は、地域全体を元気にしたいとの思いから、若手女性農業者のためのセミナー講師や、地域おこし団体の代表を務める。地域の女性の能力を引き出し経営発展する同社と信子氏の取り組みは、女性農業者だけでなく全国の農業経営者の模範となるものである。

※ 当該受賞者は、園芸部門において内閣総理大臣賞を受賞